

瑠璃の壺

るりのこぼ RURI NO TSUBO

「最終目的地」の向こうに

堤 春恵(劇作家)

2005年に木山事務所により、ソウル、釜山、東京で上演された「最終目的地は日本」の副主人公は片桐真理子という留学生である。劇の冒頭、アメリカから日本に向って飛ぶ飛行機の中のシーンで主人公である在日韓国人ピアニストの河松愛に反発し、食ってかかる真理子は、次第に自分自身の過去と向き合うようになる。劇の最後の場面で彼女は主人公に、「あなたの言葉で始めた論文を、私自身と私の家族の言葉でしめくりたいのです」と呼びかける。

この女性の後日譚、アメリカの大学を卒業し、結婚し、子どもが生まれ、アメリカに住みながらも一度自分の過去と向き合う彼女の姿を見たいと思ったのが、「瑠璃の壺」を書くきっかけだった。私自身、アメリカの地方の大学町で長年暮らしたが、日本人の友人のほとんどはアメリカ人の大学教授と結婚していた。その中の一人が三年前に突然自ら命を絶った。彼女と私の間にはほとんどプライベートな会話はなかったが、私の娘と二歳違いの彼女の一人娘の話をしている時だけは、彼女を身近に感じる事が出来た。

この友人の死が、アメリカを「最終目的地」に選んだ女性にとつての日本を書いてみようと思ったもう一つのきっかけである。今年の二月に、かつて暮らしていた町を訪れた。通いなれた大学への道の傍らに建つ友人の家の前を通り過ぎた時、私は、粉雪の帳の向こうに「瑠璃の壺」の主人公の姿を見たように思った。

堤 春恵(つみはるこ)の主な戯曲

「鹿鳴館異聞」(文化庁創作奨励特別賞)、「仮名手本ハムレット」(読売文学賞)、「音二郎インニューヨーク」(人間万事漱石の自転車)、「最終目的地は日本」(「駅ターミナル」など)、「仮名手本ハムレット」はニューヨーク(97)、ロンドン(01)、モスクワ(04)で、「最終目的地は日本」はソウルと釜山(05)でも好評を得た。いずれも木山事務所公演/末木利文演出。アメリカインディアナ大学大学院(日本学)博士課程修了。

K・K・YAMA(けい・きやま)の演出

04年「赤い鳥の居る風景」(別役実作)、「05年ソウル、06年ニューヨークでも上演。07年「道遠からん」(岸田國士作)、「08年「正午の伝説」(内山森彦プロデュース/別役実作)、「09年「病氣」(名取事務所公演/別役実作)。「病氣」は10年モスクワ、パリでも上演の予定。今回が5作品目の演出。木山事務所(演劇プロデューサー/木山潔)



金尾哲夫
(劇団員)



吉野悠我
(オフィス・ワーク)



山本与志恵
(青年座)



広瀬 彩
(オフィス・エイツー)



森尾 舞
(俳優座)



一柳みる
(劇団員)

2010年3月17日(水)ー21日(日) 下北沢『劇』小劇場 TEL03-3466-0020

入場料(全席指定・税込)=4,000円

チケット予約=木山事務所 TEL03-5958-0855/FAX03-5958-0844

電子チケットぴあ 0570-02-9999(コード400-513)

お問合せ・予約=木山事務所 TEL03-5958-0855(平日10時~18時)

〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-17-11-201



小田急線・京王井の頭線「下北沢」駅
南口下車3分 本多劇場斜め前

日・曜	3/17(水)	18(木)	19(金)	20(土)	21(日)
開演時間	7:00	2:30 7:00	7:00	2:30 7:00	2:30

前売開始=1月12日(火)

※開場は30分前
※未就学児童の入場不可